

「警報の危険度分布」を活用し、早めの避難判断を!

岡山地方気象台は、大雨により重大な災害が発生するおそれがあると判断した場合に、市町村単位で大雨警報や洪水警報を発表します。

大雨による災害は、大きく分けて次の三つに分類されます。一つ目は、降った雨が川に流れ込み河川が増水・氾濫する「洪水害」、二つ目は、降った雨が地中に浸み込んで斜面等が崩れる「土砂災害」、そして三つ目が、降った雨がどこにも流れずにその場に滞留することによる「浸水害」です。これらの災害は、雨の降り方や降る場所によって発生するタイミングや場所が異なります。

このため、大雨警報や洪水警報が発表された場合に、どの地域でどの災害が発生するおそれが高いかを“ひと目で分かりやすく”お知らせするため、昨年夏から「警報の危険度分布」の提供を始めました。「警報の危険度分布」は3種類あり、それぞれスマートフォンで簡単に見ることが出来ます。

お住まいの地域に大雨警報や洪水警報が発表された場合は、お手持ちのスマートフォンで最新の情報を確認し、早めの避難行動の判断などにぜひご活用ください。



下水道の使用にあたってのお願い

下水道管に異物が詰まりポンプ施設が故障する事例が多数発生しています
紙おむつやおしりふきなど水に溶けないものは
詰まり・故障の原因になりますので流さないようご協力をお願いします

みんなで下水道を大切に使いましょう!

異物が流れ続けポンプ施設が故障すると
適切な汚水処理ができなくなります

お問い合わせ先 上下水道課 下水道係 0868-54-0001